

令和4年8月19日

<b>居場所の名前 (呼称)</b>	H.A.M.A.木綿庵(ゆうあん) URL: <a href="http://hamayuan.com/">http://hamayuan.com/</a>
<b>活動の種類</b>	プログラム提供タイプ
<b>活動開始年度</b>	平成20年(2008)年度
<b>活動拠点 (所在地)</b>	天理市乙木町777番地および竹之町4番地
<b>活動範囲</b>	自力での往復が可能な方であれば居住地は問いません。
<b>スタッフの構成</b>	<p style="text-align: center;">_____ 8 人</p> 代表 1人 専門スタッフ 心理士 1人 サポータースタッフ ボランティア 6人
<b>活動日時 具体的な活動内 容</b>	<p>活動場所は農地(畑)と作業部屋です。農地は「山辺の道」というハイキングコース沿いの見晴らしの良い所にあります。農地ではおもに綿を栽培しています。不登校、ひきこもり、うつ、対人恐怖など、こころが閉じこもりがちな人たちが自然の中で自分と向き合うことのできる居場所づくりを目指しています。具体的には見晴らしの良い静かな場所で心おだやかに過ごすことのできる居場所を提供するとともに、農作業や綿の栽培、綿の加工(綿繰り、綿打ち、糸紡ぎ、草木染め、機織り)を通して、限定的であっても人と関わり、育てる楽しさ、物を作り出す喜びを味わい、前を向いて人生を歩むきっかけをつかんでもらうことができればと願っています。</p> <p>また、単純に農作業や綿に関心のある方の参加も大歓迎です。畑の利用は年中無休です。一緒に活動する際には、事前にお互いの都合を確認し、活動日時を調整しています。おもに土日祝日。なお、生きづらさにかかわる相談や訪問面談にも応じています。</p>
<b>利用の条件(利 用にあたって負 担する費用な ど)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の利用は年中無休です。</li> <li>・農地の利用、綿の栽培や加工方法の習得、各種相談等の費用は無料です。ただし、農地で作物を栽培される際には苗代や肥料代等の必要経費は各自で実費を負担していただきます。綿の加工についても、各工程に伴う実費は個人負担となります。また、イベントに参加される際には参加費をいただくことがあります。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望される方には可能な範囲で農地の一部をお貸しします。収穫物をご自由にお持ち帰りいただくことができます。ただし、各自の収穫物および副産物を販売することはご遠慮ください。特別な事由がある場合は必ず事前にご相談ください。</li> <li>・貸し出し農地の管理が不十分な場合は利用をお断りする場合があります。</li> <li>・耕作に必要な農具は2号畑の小屋にあります。小屋に置いてある農具はたとえ個人の所有物であっても共同利用が原則です。使用後はきれいにして元の位置に戻してください。</li> <li>・農地の草刈りや農作物の収穫をお手伝いいただくことができますが、労賃のお支払いはいたしておりません。</li> <li>・ゴミは必ずお持ち帰りください。</li> <li>・その他、農地の利用にあたっては代表者の注意、指導に必ず従っていただきます。</li> <li>・農作業をはじめ各種作業中の事故、ケガ等につきましては責任を負いかねます。</li> <li>・他の利用者様にはもちろん、近隣農地所有者様にも迷惑のかわらないようにご協力をお願いいたします。</li> </ul>
<p><b>参加しようとする若者に期待すること</b></p>	<p>見晴らしの良い静かな畑で一人のんびりと時間を過ごすのもよし、農作業や綿の加工に取り組むのもよし。      ころころはれ晴れ(Hare)の日も、ころしとすと雨(Ame)の日も、まえ(Mae)を向いて、歩き(Aruki)たい…。  <b>H. A. M. A.</b> 木綿庵の由来です。      共に、前を向いて歩いていくことができますに！</p>
<p><b>問合せ先【公表可能な連絡先】</b></p>	<p>(部署・氏名等) 代表 梅田正之          (TEL) 090-5042-7775          (E-mail) asaoki_hataraki@yahoo.co.jp</p>